

高校生の海外ボランティア ～フィリピンで公衆衛生～

1. 活動時期

:2023.8/6～8/19

5年5組 高山 和桜

2. 参加のきっかけ

:将来貧困地域医療に携わりたいという夢があり、高校生のうちから日本だけでなく、海外でも医療・公衆衛生ボランティアをして、海外医療をもっと間近に感じてみたいとずっと思っていた中でProjects Abroadのこのプログラムを見つけ、参加を決めました。

3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

参加する前は貧困地域について漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、実際に現地で見えた病院内の様子やスラム街、ストリートチルドレンの姿は私の貧困地域への理解を促進してくれました。また、様々な医療行為に関わらせていただき、参加前よりも医療への関心が大いに高まり、将来貧困地域医療に貢献したいという気持ちがより強くなりました。

②活動中の印象に残ったこと

- ・患者の血圧や脈拍測定などを行っている中で、現地の食事や衛生環境の改善すべき点に気づき、公衆衛生の必要性を理解することが出来ました。
- ・病院では、日本では滅多に見ることが出来ない、盲腸の手術や帝王切開、分娩の瞬間などを間近で見ることができ、目に焼き付けることが出来ました。



4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

:高校生のうちから海外で非日常を経験することは何もかもが新鮮で、自分に大きな影響を与えてくれます。Projects Abroadの高校生ボランティアには医療・公衆衛生だけでなく、教育や建築など様々な種類があります。自分の興味がある分野に是非参加してみてください！絶対将来に繋がる貴重な経験になると思います。